

# <Q&A>

※赤字箇所については、クリックすると詳細情報ページが表示されます。

Q1 誤嚥時の的確な対応方法は？

A1 誤嚥とは、食物や唾液などが、なんらかの理由で誤って喉頭と気管に入ってしまう状態のことで、特に高齢者は、誤嚥から気道を詰まらせて窒息状態をおこすことが多いので注意が必要です。  
窒息時は呼びかけに反応があれば、出来る限り咳をさせたり背部叩打法を実施して異物を除去します。  
呼びかけに反応がなければ、救急車の要請と同時に心肺蘇生を開始します。  
窒息に対する対処法については、函館市消防本部で行っている普通救命講習にて受講可能です。(応急手当講習／函館市)

Q2 意識消失時の的確な対応方法は？  
(現病、既往歴を把握していても、消失時の症状での判断に不安がある。)

A2 意識消失の原因は、脳・神経系疾患や内分泌性の疾患の他、薬物性・嗜好品による影響、全身状態の悪化、感染症、内臓系疾患によるものなどが考えられます。  
呼名や刺激への反応を見ながら、血圧や脈拍、呼吸状態などを観察し、反応が無い場合には、直ぐに救急車の要請と同時に心肺蘇生を開始します。  
意識消失傷病者に対する対処法については、函館市消防本部で行っている普通救命講習にて受講可能です。(応急手当講習／函館市)

Q3 意識レベルの確認が難しい。どのように見分けているのかを教えてください。

A3 主に日本で用いられている、意識レベルを知るための指標である『JCS (ジャパン・コーマ・スケール)』を使って判断しています。

Q4

どのような状態の時に、AEDを使用するかを教えてください。

A4

AED（自動体外式除細動器）とは、心臓が細かくふるえ血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、心臓のふるえを取り除くための医療機器です。

倒れている人を発見し反応がないと判断した場合、又は反応があるかどうか迷った場合には、直ちに大声で助けを求め、救急車の要請とAEDの搬送を依頼し心肺蘇生を開始することが大切です。

AED使用対象者や使用方法について、実技も含め普通救命講習にて受講可能です。

（応急手当講習／函館市）

Q5

土曜日の午後診療を行っている病院がなく、急変時に救急情報案内に電話しても、二次救急受診希望であれば救急車を呼んでくださいと言われる。

まだ救急車を呼ぶまでの状態ではないのに、救急車を呼ぶか呼ばないかで戸惑う。

A5

まずは、かかりつけ医・嘱託医・協力医療機関への連絡や報告を行い、指示を仰ぎますが、「急変時対応シート」に記載されているような症状が見られている場合は、救急車を要請します。

夜間の急な病気やけがの時は、**函館市夜間急病センター**もご利用いただけます。

（診療時間：19時30分～午前0時30分 診療科目：内科・小児科・外科）

Q6

突然、片方の手足に力が入らない状態になったが、意識はハッキリしている時、救急車を呼んで良いのでしょうか？

また、力が入らない状態が一時的に見られたが、その後、元に戻った時は？

このような場合、病院を受診すると思いますが、救急車を呼んで良いのかどうかを迷うかもしれません。

A6

「急変時対応シート」に記載されているような症状が見られている場合は、救急車を要請します。

症状が一時的なもので改善されても、早期の医療機関の受診をおすすめします。

救急車の要請を迷う場合は、要請してもかまいません。

**Q7** 施設では、新人職員に比べると、経験年数の長い職員では「いつもとちがう」の見極めができていることが多いようですが、やはり経験年数の差でしょうか？

**A7** 経験の差はあると思いますが、気が付いた事を報告し対応するために、新人・ベテランに関わらず、職員同士のコミュニケーションが大切です。

**Q8** 在宅や施設で完全に心肺停止時、警察が介入する場合と介入しない場合について教えてください。

**A8** 119番通報があり消防が介入した場合は、119番通報を受ける指令員、出場した救急隊または搬送先医療機関の医師が必要と認めた場合、警察が介入することとなります。

## 終わりに

今回の函館市医療・介護連携『急変時対応研修会』を開催する際に、事前質問を沢山いただきましたが、時間の都合上、研修会にてお答えできなかった質問等について、このQ&Aを作成いたしました。

作成するにあたり、施設における急変時対応好取組事例の報告をしてくださいました『社会福祉法人心侑会 小規模多機能ハウスあい戸倉 管理者 中本美左子様』、『社会福祉法人函館厚生院 特別養護老人ホーム百楽園 看護係長 渡邊 千恵子様』、ならびに『函館市消防本部 救急課 救急係長 上野 隆喜様』にご協力を賜り、心より感謝申し上げます。